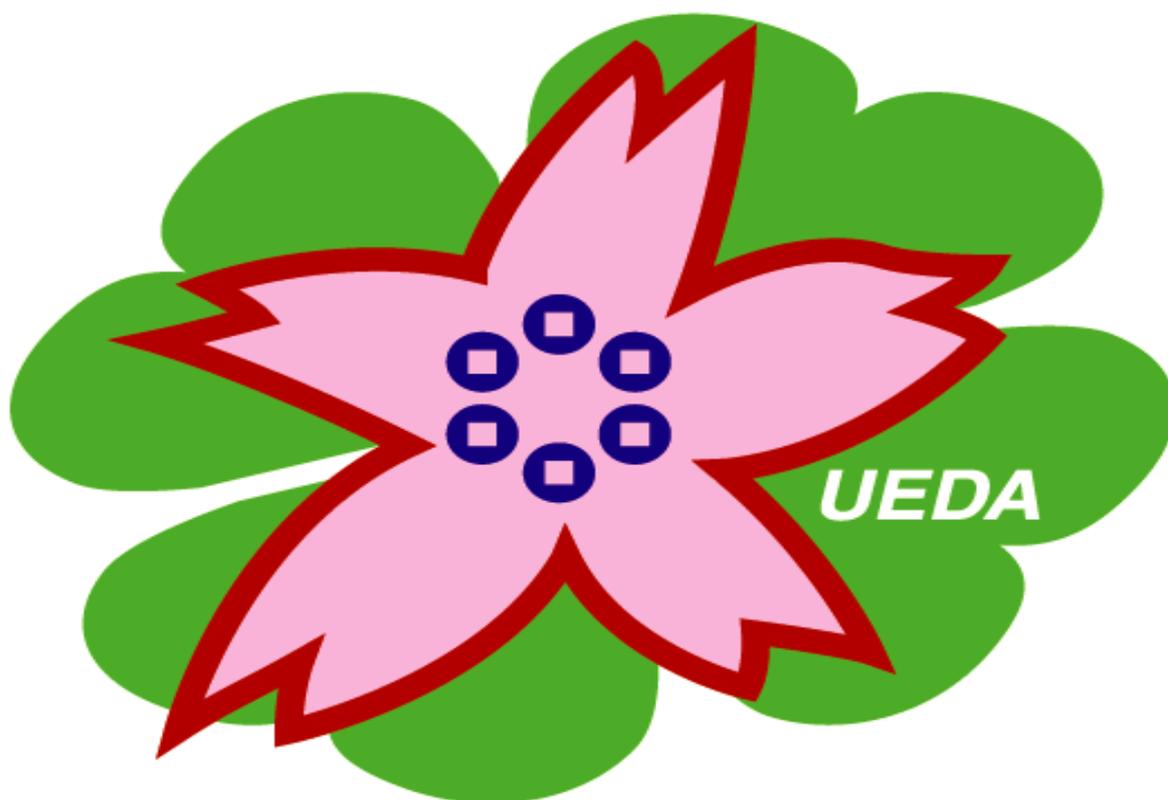


第四次 上田市行財政改革大綱

アクションプログラム



令和3年8月
上田市

— アクションプログラム —

アクションプログラムは、「第二次上田市総合計画（後期まちづくり計画）」の具現化を図るため、取り組むべき課題を明確にするとともに、「上田市スマートシティ化推進計画」を踏まえ、限られた経営資源である「人（職員・組織）、物（公共施設）、金（財政）、情報（地域情報・行政情報）」の有効活用、事務事業の「選択と集中」、「効果的で効率的」な行政サービスの提供を目指すため、第四次行財政改革大綱における具体的な取組事項と改革目標の達成時期を明確に示すとともに、その進捗管理を行うために定めるものです。

具体的には、「取組項目」「改革の概要」「改革の手段」「改革達成形態」「年度別取組内容（数値等目標）」「効果額」を示し、市民にわかりやすい行財政改革の指標として位置付けます。

毎年度、進捗管理を行いながら、推進期間中においても見直しを行います。

また、コロナ禍の影響が不透明なことから、4年目（令和6年度）に令和3～5年度までの実績について中間評価を行い、項目の見直しや次期大綱の策定に活用します。

アクションプログラム 目次

(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革……20項目

ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化（5項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
1	1	電子申請手続の利用促進	情報システム課 行政管理課 会計課 スポーツ推進課	6
2	2	マイナンバーカードの利用促進	行政管理課 情報システム課 市民課	7
3	3	ICTを活用した窓口改善	市民課 人権男女共生課 情報システム課 税務課 障がい者支援課 国保年金課	8
4	4	押印・対面規制の見直し (市民サービスに関連するもの)	総務課 福祉課 国保年金課 子育て子育て支援課	9
5	5	窓口業務の見直し	市民課 福祉課 国保年金課 子育て子育て支援課	10

イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり（10項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
6	1	PPP・PFIの検討と導入の推進	行政管理課	11
7	2	民間委託の検討	行政管理課 総務課 住宅課	12
8	3	民営化の検討	行政管理課 総務課 高齢者介護課 保育課	13
9	4	サウンディング型市場調査の推進	行政管理課	14
10	5	指定管理者制度のあり方の検討	行政管理課	15
11	6	地域協議会と住民自治組織の役割の明確化及び 住民自治組織の全市域への設立	市民参加・協働推進課	16
12	7	地域協議会のあり方の見直し	市民参加・協働推進課	17

No.	取組項目名	担当課所	ページ
13	8 公民館事業のあり方の見直し	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館 丸子公民館 真田中央公民館 武石公民館	18
14	9 地域自治センター・公民館を活用した地域コミュニティの活動拠点化整備	市民参加・協働推進課	19
15	10 自治会に対して市から依頼する委員、事業の見直し	市民参加・協働推進課	20

ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信（2項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
16	1 ICTを活用した情報発信	広報シティプロモーション課	21
17	2 オープンデータの推進	広報シティプロモーション課	22

エ 広域連携の推進（3項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
18	1 水道事業の広域化の検討	経営管理課 サービス課 上水道課 浄水管理センター 丸子・武石上下水道課	23
19	2 クラウドサービス等の利用促進	情報システム課	24
20	3 業務システムの標準化	情報システム課	25

(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革……29項目

ア 歳入の確保（6項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
21	1 ふるさと納税の推進	移住交流推進課 政策企画課	26
22	2 遊休財産等の処分促進	財産活用課	27
23	3 市税・各料金等の収納率向上と滞納繰越額の縮減	収納管理課	28
24	4 適正な債権管理	収納管理課	29
25	5 水道料金・下水道使用料の収納率の維持向上	サービス課	30
26	6 市有財産を活用した広告掲載事業の実施	財産活用課	31

イ 健全な財政基盤の構築（6項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
27	1 中長期の財政推計に基づく安定的な財政基盤の構築	財政課	32
28	2 合併協議における未統一制度等の見直しの加速化	行政管理課 事業担当課	33
29	3 公立大学法人長野大学の改革促進	学園都市推進室	34
30	4 市立産婦人科病院の経営形態の見直し	市立産婦人科病院	35
31	5 武石診療所の改革	武石診療所	36
32	6 既存事業の見直し（スクラップ&ビルド）	財政課	37

ウ 市有財産の適正な管理と利活用（3項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
33	1 地方公会計制度による財務書類等の活用	財政課	38
34	2 固定資産台帳を活用した財産管理と利活用	財産活用課 財政課	39
35	3 用途廃止施設の活用と処分	財産活用課 丸子地域振興課 真田地域振興課 武石地域振興課	40

エ 公共施設マネジメントの推進（10項目）

No.	取組項目名	担当課所	ページ
36	1 公共施設等の適正配置と長寿命化の実現	行政管理課 政策企画課	41
37	2 個別施設計画の推進	行政管理課 施設所管課（個別施設 計画策定時の計画策定 主担当課）	42
38	3 施設維持管理費の縮減	行政管理課 健康推進課 農政課 武石産業建設課 真田地域教育事務所	43
39	4 公共施設のあり方の検討 （ア）マルチメディア情報センター	情報システム課	44
40	5 公共施設のあり方の検討 （イ）労働福祉施設	地域雇用推進課	45
41	6 公共施設のあり方の検討 （ウ）コミュニティ施設	市民参加・協働推進課	46
42	7 公共施設のあり方の検討 （エ）鹿月荘とクアハウスかけゆ	丸子産業観光課	47
43	8 公共施設のあり方の検討 （オ）菅平高原自然館	真田産業観光課	48
44	9 公共施設のあり方の検討 （カ）武石地域の観光施設等	武石産業建設課	49

No.		取組項目名	担当課所	ページ
45	10	公共施設のあり方の検討 (キ) 直営化した施設の適切な維持管理と 処分の検討	行政管理課 農政課 森林整備課 真田市民サービス課 真田産業観光課 真田地域教育事務所	50

オ 受益と負担のあり方の見直し（4項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
46	1	受益と負担のあり方の検討	行政管理課	51
47	2	事務手数料の見直し	行政管理課	52
48	3	施設使用料の見直し	財政課 施設所管課	53
49	4	減免基準の見直し	行政管理課	54

(3) 時代に即した行政運営への改革……12項目

ア 行政組織の適正化（2項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
50	1	社会情勢等に応じた組織の構築	総務課	55
51	2	内部統制の研究	行政管理課	56

イ 人材の確保・育成と職員の意識改革（3項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
52	1	多様な人材の確保	総務課	57
53	2	計画的な職員研修の実施	総務課	58
54	3	人事交流の実施	総務課	59

ウ 仕事のやり方の見直し（6項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
55	1	AI・RPAなどの技術の活用	情報システム課	60
56	2	業務のデジタル化・ペーパーレス化の促進	情報システム課	61
57	3	Web会議の活用と働き方改革	総務課 情報システム課	62
58	4	ワーク・ライフ・バランスの推進	総務課	63
59	5	職員提案による事務改善の推進	行政管理課	64
60	6	押印・対面規制の見直し（内部事務）	総務課	65

エ 施策評価としての目標管理制度の運用（1項目）

No.		取組項目名	担当課所	ページ
61	1	事務事業の定期的な見直し	行政管理課 政策企画課	66

No.	1	取組項目名	電子申請手続の利用促進
改革の概要	<p>「ながの電子申請サービス」の各種手続の利用拡大に取り組むとともに、新たな電子申請とキャッシュレス決済の導入に向け検討を行う。</p> <p>また、「公共施設予約システム」のスポーツ施設以外での利用拡大について検討する。</p>		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化		
担当部局・課所名	総務部 会計管理者組織 教育委員会事務局	情報システム課 行政管理課 会計課 スポーツ推進課	
これまでの実績・課題	令和元年度にスポーツ施設において、「公共施設予約システム」を導入		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大に向け、利用促進を進める。 新たな電子申請サービスの導入及び「公共施設予約システム」の利用拡大を進める。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	24時間365日いつでもどこでも行政手続が申請できるよう、行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済を進める。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	①「電子申請手続の利用促進」		
該当するSDGsの目標	   		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大 新たな電子申請サービス及びキャッシュレス決済の導入を検討 「公共施設予約システム」の利用拡大を検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大 新たな電子申請サービス及びキャッシュレス決済の導入を検討、実証 「公共施設予約システム」の利用拡大を検討 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大 新たな電子申請サービス及びキャッシュレス決済の導入 「公共施設予約システム」の利用拡大を検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大 「公共施設予約システム」の利用拡大 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 「ながの電子申請サービス」の利用拡大 「公共施設予約システム」のシステム更改を検討 		

No.	2	取組項目名	マイナンバーカードの利用促進
改革の概要	マイナンバーカードの普及促進に取り組むとともに、マイナンバーカードで証明書が取得できる交付サービスの拡大について検討する。 また、マイナポータルを活用したオンライン申請の拡大に取り組む。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化		
担当部局・課所名	総務部 市民まちづくり推進部	行政管理課 情報システム課 市民課	
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及：交付枚数 35,224枚、交付率 22.5%(令和3年3月31日時点) ・コンビニ交付：平成28年から「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」を開始 ・マイナポータルの活用：「子育て」と「介護」に係る27事務、「被災者支援」に係る1事務を運用 		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの安全性や利便性の周知やマイナンバーカードの出張申請受付の実施 ・マイナンバーカードで証明書が取得できる交付サービスの拡大について検討する ・マイナポータルを活用したオンライン手続きの拡充、申請者が手続きし易いような簡素化を図る 		
5年後の改革達成形態・成果目標	多くの市民がマイナンバーカードを保有し、行政サービスの様々な場面でマイナンバーカードを利活用することができる、安全・安心で利便性の高いデジタル社会の実現を目指す。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	①「電子申請手続の利用促進」		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎での円滑なマイナンバーカードの交付体制の確立 ○マイナンバーカードで証明書が取得できるサービス拡大の検討 ○マイナポータルでの申請の拡充・手続きの簡素化を検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○マイナンバーカードで証明書が取得できるサービス拡大の検討 ○マイナポータル <ul style="list-style-type: none"> ・申請の拡充：5事務、簡素化：12事務 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ○マイナンバーカードで証明書が取得できるサービス拡大 ○マイナポータルでの申請の拡充等の検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ○マイナポータルでの申請の拡充等 検討 ・申請の拡充：10事務 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ○マイナポータルでの申請の拡充等 検討 ・申請の拡充：10事務 		

No.	3	取組項目名	ICTを活用した窓口改善
改革の概要	<p>タブレット端末などのICTを活用した窓口改善の検討、各窓口における多言語音声翻訳機等の導入を検討。 手続の省力化を図るとともに、障がいのある方や、外国籍市民がストレスなく手続が行える環境を整備する。</p>		
改革の体系項目	<p>(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化</p>		
担当部局・課所名	<p>市民まちづくり推進部 総務部 財政部 福祉部 健康こども未来部</p>	<p>市民課 人権男女共生課 情報システム課 税務課 障がい者支援課 国保年金課</p>	
これまでの実績・課題	<p>実績：令和2年7月1日に「通称：うえだ手話言語・情報コミュニケーション条例」を制定 課題：市民が窓口において記載する書類が多く、同じことを繰り返し記入しなければならないため負荷がかかる。 ・混雑期は特に、窓口滞在期間が長時間にわたってしまう。</p>		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、記入負荷削減と窓口滞在時間の軽減を図る。 コミュニケーション支援アプリの導入、窓口における利用の推進、全庁的な利用への拡大 障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段が日常生活で当たり前のように利用される環境整備を検討 既に導入している先進地からの情報収集・事例研究を行い、既存のパッケージの導入も視野に入れて実施を早めたい。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、利便性の向上を図る。 		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	<p>【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実 【第4編 第2章 第1節】 共生社会の実現を目指す障がい者支援の充実</p>		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	<p>③ ICTを活用した窓口改善 ②地域で支え合う福祉の推進</p>		
該当するSDGsの目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した窓口改善の検討 コミュニケーション支援アプリの導入（障がい者支援課窓口）と活用 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した窓口改善の検討 コミュニケーション支援アプリの活用、新庁舎の他課窓口における環境整備の検討 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した窓口改善の検討 コミュニケーション支援アプリの新庁舎窓口での活用 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した窓口改善の実施 コミュニケーション支援アプリの全市的な導入の検討 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した窓口改善の実施 コミュニケーション支援アプリの全市への導入と活用 		

No.	4	取組項目名	押印・対面規制の見直し（市民サービスに関するもの）
改革の概要	押印の廃止により、市民の利便性の向上、行政手続きの簡素化及び業務の効率化が見込まれる業務に係る例規等について、様式から印を削る等の所要の改正を行う。		
改革の体系項目	（１） 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化		
担当部局・課所名	総務部 会計管理者組織	総務課 行政管理課 会計課	
これまでの実績・課題	例規の洗い出し		
課題解決のための取組内容・改革手段	基本方針を定め、該当する例規及び内規等を所管課に照会し、具体的な判断基準に基づいて、改正が必要な例規等については改正する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	行政手続きの簡素化・オンライン化が促進されている。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実 【第1編 第3章 第2編】 市民と行政との情報共有の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	①電子申請手続きの利用促進		
該当するSDG s の目標	  		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	例規等改正		
令和4年度	電子化等が進んだ事務に係る例規について、必要に応じて例規改正		
令和5年度	同上		
令和6年度	同上		
令和7年度	同上		

No.	5	取組項目名	窓口業務の見直し
改革の概要	市民サービスの向上を図るため、お悔み、お誕生、子育てなどの専用窓口の検討を行う。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化		
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部 福祉部 健康こども未来部	市民課 福祉課 国保年金課 子育て子育て支援課	
これまでの実績・課題	死亡や相続に関する手続きは、遺族にとって慣れないものであり、手続きの漏れや必要書類の不備により、何度も複数の課への行き来を繰り返すことになり、大きな負担となる。これらの課題に対し、「おくやみコーナー」を設置し、遺族の負担の軽減に取り組む。		
課題解決のための取組内容・改革手段	死亡手続きを行うための専用の窓口を設け、亡くなった方や遺族の状況に応じて必要な手続きを抽出し、申請書作成の補助、受付、関係する課への案内等を行う、ワンストップサービスを提供する専用窓口の設置		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	専用窓口の開設と市民の利便性の向上		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	③ICTを活用した窓口改善		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	・ 庁内関係課で専用窓口の検討		
令和4年度	・ 庁内関係課で専用窓口の検討 ・ 先進地視察		
令和5年度	・ 庁内関係課で専用窓口の検討 ・ 先進地視察		
令和6年度	・ 庁内関係課で専用窓口の検討		
令和7年度	・ 庁内関係課で専用窓口の検討		

イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり

No.	6	取組項目名	PPP・PFIの検討と導入の推進
改革の概要	民間活力導入によるメリットを住民サービスの向上へつなげるため、PPP、PFI手法の導入を優先的に検討するための指針を策定し、PPP、PFIの導入を推進する。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	PFI導入実績無し		
課題解決のための取組内容・改革手段	PPP、PFI手法の導入を優先的に検討するための指針を策定し、PPP、PFIの導入を推進する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	事業実施にあたっては、PPP、PFIの導入可否についての検討を充分に行い、民間活力導入によるメリットを住民サービスの向上へつなげる。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	   		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	PPP、PFI手法の導入を優先的に検討するための指針の策定に向けた検討		
令和4年度	PPP、PFI手法の導入を優先的に検討するための指針の策定に向けた検討		
令和5年度	PPP、PFI手法の導入を優先的に検討するための指針の策定		
令和6年度	策定した指針に沿って個別事業についてPFIの導入を検討・推進する。		
令和7年度	策定した指針に沿って個別事業についてPFIの導入を検討・推進する。		

No.	7	取組項目名	民間委託の検討
改革の概要	市営住宅、窓口業務における民間委託の導入を検討する。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	総務部 生活環境部	行政管理課 総務課 住宅課	
これまでの実績・課題	市営住宅の民間委託については、導入に向けた検討を進めている。 窓口業務の民間委託については、市民サービスの向上と効率的な行政運営の両立を図ることができるかを先進自治体の事例を研究し、検討する必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	市営住宅、窓口業務における民間委託の導入を検討する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	市民サービスの向上と効率的な運営を図る。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	民間委託の検討		
令和4年度	民間委託の検討		
令和5年度	市営住宅の民間委託開始		
令和6年度	窓口業務の民間委託について検討		
令和7年度	窓口業務の民間委託について検討		

No.	8	取組項目名	民営化の検討
改革の概要	デイサービスセンターの民営化等についての検討を行うとともに、公立保育園（幼稚園）適正配置の手段として必要に応じて民営化の検討を行う。		
改革の体系項目	（１） 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	総務部 福祉部 健康こども未来部	行政管理課 総務課 高齢者介護課 保育課	
これまでの実績・課題	令和2年度末をもって武石デイサービスセンターやすらぎについては、条例より削除し、令和3年度より民間への貸付を実施。 デイサービス事業を展開している他の5施設についても、公設の施設として継続する必要性を検討する必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	各施設の状況に応じ、効率的な運営を行う手段の一つとして、民営化等の検討を行う。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	効率的な施設運営となるよう各施設の状況に応じた検討を行う。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第4編 第3章 第2節】 多様なニーズを応えるきめ細やかな子育て支援の充実 【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	各施設の今後の方向性の検討		
令和4年度	各施設の今後の方向性の検討		
令和5年度	各施設の今後の方向性の検討		
令和6年度	各施設の今後の方向性の検討		
令和7年度	各施設の今後の方向性の検討		

No.	9	取組項目名	サウンディング型市場調査の推進
改革の概要	公共施設のあり方の検討材料の一つとして積極的にサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用を図る。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	「新本庁舎売店設置事業」「岳の湯温泉雲溪荘の利活用」の2事業において、民間の市場性把握を行うため、平成30年度にサウンディング型市場調査を実施した。		
課題解決のための取組内容・改革手段	公共施設のあり方の検討材料の一つとして積極的にサウンディング型市場調査を実施する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	サウンディング型市場調査の結果を踏まえた施設の有効活用		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）		実績（効果額）
令和3年度	必要に応じてサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用の方法を検討する。		
令和4年度	必要に応じてサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用の方法を検討する。		
令和5年度	必要に応じてサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用の方法を検討する。		
令和6年度	必要に応じてサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用の方法を検討する。		
令和7年度	必要に応じてサウンディング型市場調査を実施し、施設の有効活用の方法を検討する。		

No.	10	取組項目名	指定管理者制度のあり方の検討
改革の概要	指定管理者制度を導入している施設について、施設の性質や現状を十分に考慮し、状況によっては直営化や民間への譲渡を検討する。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	令和3年4月時点で、公の施設496施設のうち、116施設（23.4%）で指定管理者制度を導入している。 導入時から状況が変化し、指定管理者制度のメリットを十分に生かしてきていない施設も出てきており、より効果的な施設の運営方法等を検討する必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	指定管理者の更新時に、施設の性質・現状を踏まえて、より効果的な施設管理運営方法を検討する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	各施設の状況に応じて、指定管理者制度の継続、直営化、民間への譲渡等の方向性を決定し、それに基づいた対応を順次行う。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	指定管理者制度更新対象施設の今後の方向性の検討及び決定 決定内容に基づき順次対応		
令和4年度	指定管理者制度更新対象施設の今後の方向性の検討及び決定 決定内容に基づき順次対応		
令和5年度	指定管理者制度更新対象施設の今後の方向性の検討及び決定 決定内容に基づき順次対応		
令和6年度	指定管理者制度更新対象施設の今後の方向性の検討及び決定 決定内容に基づき順次対応		
令和7年度	指定管理者制度更新対象施設の今後の方向性の検討及び決定 決定内容に基づき順次対応		

No.	11	取組項目名	地域協議会と住民自治組織の役割の明確化及び住民自治組織の全市域への設立
改革の概要	地域協議会と住民自治組織の役割を明確にするとともに、住民自治組織を全市域に設立し、更なる地域の自治の推進を図る。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部	市民参加・協働推進課	
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域協議会、住民自治組織、地域経営会議（住民自治組織の準備会）等に対し、折に触れて役割の違いの説明に努めてきた。 ・令和2年度末現在、9地域に11の住民自治組織設立 		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・委員交代などの機を捉えて丁寧な説明に努める。 ・住民自治組織の設立については、必要性の理解やもたらす効果をより一層明確化できるよう努める。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	説明の継続、住民自治組織の全市域への設立と定着（これらにより、役割分担が分かりにくいという声は減ると考えられる）		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第1章 第2節】 地域内分権による地域の自治の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会委員、住民自治組織関係者への説明 ・住民自治組織の北部地区での設立 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会委員、住民自治組織関係者への説明 ・住民自治組織の東部・中央・南部地区での設立 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会委員、住民自治組織関係者への説明 ・住民自治組織の東部・中央・南部地区での設立 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会委員、住民自治組織関係者への説明 ・住民自治組織の運営支援 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会委員、住民自治組織関係者への説明 ・住民自治組織の運営支援 		

No.	12	取組項目名	地域協議会のあり方の見直し
改革の概要	上田市地域自治センター条例第5条に規定する地域協議会の設置単位について、創設以来17年を迎えるに当たり、地域の実情に応じて見直しを検討する。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部	市民参加・協働推進課	
これまでの実績・課題	上田地域の6地域協議会において、住民自治組織等との役割の違いなどを説明した上で、設置単位の見直し案を提示し、設置単位等の検討を進めていただいた。		
課題解決のための取組内容・改革手段	各地域協議会の意見を踏まえた上で調整を進める。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	地域の課題解決に向けて地域に合った望ましい設置単位や委員数としていく。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第1章 第2節】 地域内分権による地域の自治の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	     		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	地域の意見に基づき、地域協議会のあり方（設置単位、委員数、任務）の見直しを検討		
令和4年度	地域の意見に基づき、地域協議会のあり方（設置単位、委員数、任務）の見直しを検討		
令和5年度	地域の意見に基づき、地域協議会のあり方（設置単位、委員数、任務）の見直しを検討		
令和6年度	地域の意見に基づき、地域協議会のあり方（設置単位、委員数、任務）の見直しを検討		
令和7年度	地域の意見に基づき、地域協議会のあり方（設置単位、委員数、任務）の見直しを検討		

No.	13	取組項目名	公民館事業のあり方の見直し				
改革の概要	まちづくり活動を行う住民自治組織との連携を図り、相互の役割を明確にし、地域が主体となって取り組むまちづくりを推進する。						
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり						
担当部局・課所名	教育委員会		中央公民館他8館				
これまでの実績・課題	市内9つの公民館は、地域における生涯学習の拠点施設として、地域住民のニーズに応じた様々な学びの場を提供してきた。人口減少や人生100年時代と言われる長寿化の中で、地域の担い手不足や、社会的孤立が問題となっており、社会教育施設である公民館は、地域コミュニティの維持と持続的な発展に向け、より効果的な事業展開を図っていく必要がある。						
課題解決のための取組内容・改革手段	単なる学習の機会を創出するだけに止まらず、地域課題解決に向けた学習の推進や、学びの成果を実践的な活動へと発展させていく取り組みを行う。 更には、公民館が培ってきた地域との関係性を生かし、各地域の実情に応じた学習とまちづくり活動を結びつけ、地域が主体となって取り組むまちづくり活動を支援する。						
5年後の改革達成形態・成果目標	地域住民を、これまで以上に、まちづくり活動へとつなげていくため、知識と実践を結びつけた地域課題解決に向けた学習を推進し、地域づくりの人材育成を図っていく。						
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第5編 第2章 第1節】 生涯学習の推進と学習環境の整備						
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑧新たなICT社会に対応できる人材育成						
該当するSDGsの目標							
取組年度	取組計画（数値目標）			実績（効果額）			
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に地域課題を解決するために必要とされる学習の機会を創出。 ・学習成果をまちづくり活動へとつなげていくための実践的な取り組みを進める。 						
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に地域課題を解決するために必要とされる学習の機会を創出。 ・学習成果をまちづくり活動へとつなげていくための実践的な取り組みを進める。 						
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に地域課題を解決するために必要とされる学習の機会を創出。 ・学習成果をまちづくり活動へとつなげていくための実践的な取り組みを進める。 						
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に地域課題を解決するために必要とされる学習の機会を創出。 ・学習成果をまちづくり活動へとつなげていくための実践的な取り組みを進める。 						
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に地域課題を解決するために必要とされる学習の機会を創出。 ・学習成果をまちづくり活動へとつなげていくための実践的な取り組みを進める。 						

No.	14	取組項目名	地域自治センター・公民館を活用した地域コミュニティの活動拠点化整備			
改革の概要	公民館を生涯学習の活動の場だけではなく、地域住民が主体となって地域課題を解決したり、まちづくりを担う人材の育成を行える場として活用する。					
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり					
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部		市民参加・協働推進課			
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実績なし ・複数の住民自治組織が設立されている地域の取扱をどうするかが課題(城南と設立準備中の中央地域の4地区が該当) 					
課題解決のための取組内容・改革手段	政策研究センターを中心に教育委員会とも部局横断的な検討を行い、地域や公民館利用団体の意見を聴きながら調整を図る。					
5年後の改革達成形態・成果目標(効果額)	住民自治組織の中央4地区における設立の枠組みを固めるとともに、単なる拠点化に留まらない活用方法や管理形態など、様々な観点で検討を行っていく。					
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第1章 第2節】 地域内分権による地域の自治の推進					
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—					
該当するSDG s の目標						
取組年度	取組計画(数値目標)			実績(効果額)		
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治組織の設立、枠組みの検討 ・拠点化に関する内部検討 					
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治組織の設立、枠組みの検討 ・拠点化に関する内部検討 					
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治組織の設立、枠組みの検討 ・拠点化に関する内部検討 					
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点化に関する地域や利用者団体等からの意見聴取、調整等 					
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点化に関する地域や利用者団体等からの意見聴取、調整等 					

No.	15	取組項目名	自治会に対して市から依頼する委員、事業の見直し	
改革の概要	自治会の負担軽減を図るため、委員の削減や事業の見直しを検討する。			
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり			
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部		市民参加・協働推進課	
これまでの実績・課題	・自治会に対する負担軽減については、広報等の定期送達を年2回から年1回にするなど見直しを行ってきた。更なる負担軽減が必要である。			
課題解決のための取組内容・改革手段	関係各課と協議を行い、委員数と事業の内容を把握し、削減について検討する。			
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	協議が整ったところから委員、事業の削減を行う。			
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第1章 第1節】 参加と協働による自治の推進			
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—			
該当するSDG s の目標	 			
取組年度	取組計画（数値目標）		実績（効果額）	
令和3年度	関係各課と協議検討			
令和4年度	関係各課と協議検討			
令和5年度	委員の削減については令和2年度比10%削減			
令和6年度	更なる削減に向けて関係各課と協議検討			
令和7年度	更なる削減に向けて関係各課と協議検討			

No.	16	取組項目名	ICTを活用した情報発信
改革の概要	Webアクセシビリティに配慮したホームページなどを作成するとともに、多様な情報発信手段を活用し情報提供を行う。 また、ICTツールを活用し、市民と行政がつながる双方向コミュニケーションの仕組みづくりに取り組む。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信		
担当部局・課所名	政策企画部	広報シティプロモーション課	
これまでの実績・課題	市民と行政、団体間など様々な主体が情報共有し、双方向でつながるコミュニケーション手段の活用。ホームページアクセス数：742万件(令和元年度)、1,182万件(令和2年度)、上田市公式Twitter発信実績：1,597件(令和元年度)、1,769件(令和2年度)		
課題解決のための取組内容・改革手段	ホームページのWebアクセシビリティを高めるとともに、多様な情報発信手段を活用し情報発信の多重化を図る。また、市民と行政がつながる双方向コミュニケーションの仕組みづくりのためICTツールの積極的な活用を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標(効果額)	SNS等を浸透させることで、行政との情報共有が進んだと感じる市民を増加させる。また、各分野(まちづくり、環境、子育て、観光、文化など)での活動、イベント等の情報発信におけるICTツールの利用拡大。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第2節】 市民と行政との情報共有の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	④ICTを活用した情報発信		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画(数値目標)	実績(効果額)	
令和3年度	ICTツール・双方向型となり得る媒体の活用について検討		
令和4年度	ICTツールの活用		
令和5年度	ICTツールの利用機会の拡大		
令和6年度	ICTツール・双方向型となり得る媒体の活用について再検討		
令和7年度	ICTツールの活用		

No.	17	取組項目名	オープンデータの推進
改革の概要	市が保有する公共データを、社会共通の情報資源と捉え、オープンデータ化し公開することにより、有効に活用できる環境を整備する。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信		
担当部局・課所名	政策企画部	広報シティプロモーション課	
これまでの実績・課題	実績：オープンデータの公開数：5分野 課題：各種データが地図情報と紐付いていない。データの更新にタイムラグが生じる。		
課題解決のための取組内容・改革手段	市が保有する公共データを、国の定める「推奨データセット」等を参考にオープンデータとして最新化及び拡充を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開 10分野 ・公共データの利活用の促進 		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第2節】 市民と行政との情報共有の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑫オープンデータ化の推進		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開数 6分野 ・公共データの利活用の促進 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開数 7分野 ・公共データの利活用の促進 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開数 8分野 ・公共データの利活用の促進 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開数 9分野 ・公共データの利活用の促進 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンデータの公開数 10分野 ・公共データの利活用の促進 		

エ 広域連携の推進

No.	18	取組項目名	水道事業の広域化の検討
改革の概要	長野県企業局、長野市、千曲市、坂城町及び上田市の5者により、広域的な水運用による持続可能な経営体制の確立に向けた検討を進める。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 エ 広域連携の推進		
担当部局・課所名	上下水道局	経営管理課 サービス課 上水道課 浄水管理センター 丸子・武石上下水道課	
これまでの実績・課題			
課題解決のための取組内容・改革手段	長野県企業局、長野市、千曲市、坂城町及び上田市の5者による「(仮称)広域化研究会」を組織し検討を進める。		
5年後の改革達成形態・成果目標(効果額)	5事業体の水運用の一体化による水道施設の最適化効果及び経営形態について試算する。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第2編 第2章 第5節】 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画(数値目標)		実績(効果額)
令和3年度	「(仮称)広域化研究会」において検討		
令和4年度	「(仮称)広域化研究会」において検討		
令和5年度	「(仮称)広域化研究会」において検討		
令和6年度	「(仮称)広域化研究会」において検討		
令和7年度	「(仮称)広域化研究会」において検討		

No.	19	取組項目名	クラウドサービス等の利用促進
改革の概要	各業務システムの更新時において、情報セキュリティの向上や行政コストの削減を考慮し、クラウドサービス利用及び共同利用の検討を行う。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 エ 広域連携の推進		
担当部局・課所名	総務部	情報システム課	
これまでの実績・課題	令和2年度に住民記録システムの単独クラウド化を実施		
課題解決のための取組内容・改革手段	各業務システムの更新時において、クラウドサービス利用及び共同利用の検討を行う。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	業務システムの更新や構築時には、情報セキュリティの向上や安全で確実なデータ処理、行政コストの削減を図る観点からシステム導入の検討を行う。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑮クラウドサービスなどの利用促進		
該当するSDGsの目標	    		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	・基幹系システムの更新に向け、クラウドサービス利用及び共同利用の検討		
令和4年度	・基幹系システムの更新に向け、クラウドサービス利用及び共同利用の検討		
令和5年度	・システムの仕様書作成、業者選定		
令和6年度	・新システムでクラウドサービス利用及び共同利用を開始		
令和7年度	・新システムでクラウドサービス利用及び共同利用を開始		

No.	20	取組項目名	業務システムの標準化
改革の概要	基幹系情報システムの標準仕様書に準拠したシステム導入を行うため、事務手順や業務の見直しを行うとともに、様式や帳票等の標準化に取り組む。		
改革の体系項目	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 エ 広域連携の推進		
担当部局・課所名	総務部	情報システム課	
これまでの実績・課題	令和2年度に住民記録システムの標準仕様書が公開		
課題解決のための取組内容・改革手段	令和7年度までに標準仕様書に準拠したシステムへ移行する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	主要17業務の基幹系情報システムについては、国が作成する標準仕様書に準拠したシステムへ移行する		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑩業務システムの標準化		
該当するSDGsの目標	    		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 国の動向やシステム業者から情報収集 各システムごと関係課へのヒアリングと庁内会議を実施 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 国の動向やシステム業者から情報収集 各システムごと関係課へのヒアリングと庁内会議を実施 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> システムの仕様書作成、業者選定 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 新システムで運用開始（17業務別に開始） 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 新システムで運用開始（17業務別に開始） 		

(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革

ア 歳入の確保

No.	21	取組項目名	ふるさと納税の推進
改革の概要	ふるさと納税寄附額の増加及び企業版ふるさと納税の積極的なPRによる自主財源を確保するとともに市の知名度向上と関係人口の拡大、並びに産業振興を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保		
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部 政策企画部	移住交流推進課 政策企画課	
これまでの実績・課題	実績 【個人版】 令和元年度：件数：19,414件 金額：365,607千円 令和2年度：件数：25,218件 金額：461,558千円 【企業版】 令和元年度：なし 令和2年度：1,200千円（3件） 【課題】 制度の周知と企業による制度の理解促進		
課題解決のための取組内容・改革手段	【個人版】 ふるさと納税ポータルサイトの追加及びSNSの導入活用により、上田市返礼品へのアクセス機会増加を図るとともに、魅力ある返礼品の登録を促進し、寄附額の増加並びに知名度向上による関係人口の拡大と、地域産業の振興を狙う。 【企業版】 上田市版総合戦略を網羅した地域再生計画に基づき広く寄附を募る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	【個人版】 ふるさと納税寄附件数と寄附額の増 【企業版】 寄附件数または寄附額の増		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実 【第6編 第2章 第1節】 上田の魅力発信、選ばれる都市づくり		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	   		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	【個人版】 ふるさと寄附金額 前年度比10%増 【企業版】 前年度比増		
令和4年度	【個人版】 ふるさと寄附金額 前年度比5%増 【企業版】 前年度比増		
令和5年度	【個人版】 ふるさと寄附金額 前年度比5%増 【企業版】 前年度比増		
令和6年度	【個人版】 ふるさと寄附金額 前年度比5%増 【企業版】 前年度比増		
令和7年度	【個人版】 ふるさと寄附金額 前年度比5%増 【企業版】 前年度比増		

No.	22	取組項目名	遊休財産等の処分促進
改革の概要	自主財源の確保に向け、遊休財産等の処分を促進する		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保		
担当部局・課所名	財政部	財産活用課	
これまでの実績・課題	平成28年度に、公募により売却に至らなかった土地の処分に向け、不動産専門家（宅建協会）との連携を図るため「市有地等の売却に係る一般媒介に関する協定」を締結。 なお、遊休財産等の処分は、年間3千万円を目標としているが、処分を促進するため、今後も新たな取組が必要となっている。		
課題解決のための取組内容・改革手段	公募により売却に至らなかった土地の媒介依頼については不動産専門家（宅建協会）と引き続き調整すると共に、遊休財産の把握及びそのオープンデータ化を図り、遊休財産等の有効活用及び処分を進める。		
5年後の改革達成形態・成果目標	判明した遊休地又は公募において売却に至らなかった土地の処分を計画的に促進することで、遊休財産等の処分目標を毎年度3千万円以上とする。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑫オープンデータ化の推進		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のノウハウを活用した遊休財産等の処分促進 ・判明した遊休地について、市ホームページ等を活用してお知らせ。 ・年間3千万円以上の売却 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のノウハウを活用した遊休財産等の処分促進 ・判明した遊休地について、市ホームページ等を活用してお知らせ。 ・年間3千万円以上の売却 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のノウハウを活用した遊休財産等の処分促進 ・判明した遊休地について、市ホームページ等を活用してお知らせ。 ・年間3千万円以上の売却 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のノウハウを活用した遊休財産等の処分促進 ・判明した遊休地について、市ホームページ等を活用してお知らせ。 ・年間3千万円以上の売却 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家のノウハウを活用した遊休財産等の処分促進 ・判明した遊休地について、市ホームページ等を活用してお知らせ。 ・年間3千万円以上の売却 		

No.	23	取組項目名	市税・各料金等の収納率向上と滞納繰越額の縮減			
改革の概要	自主財源及び税負担の公平性を確保し、収納率の向上及び滞納繰越額の縮減に向けた取組を推進する。					
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保					
担当部局・課所名	財政部		収納管理課			
これまでの実績・課題	市税等の収納率は着実に向上し、滞納繰越額も漸減しつつあるが、収納率は県内他市に比べ低い状態が続いている。今後は、早期の財産調査・差押などを、より効率的に行えるよう改革が必要である。					
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・納付案内センターの活用による滞納の発生とその長期化を防止する取組の推進 ・長野県地方税滞納整理機構と連携した滞納繰越額縮減のための取組の推進 ・RPA、AIといった新技術の導入による業務効率化の推進 					
5年後の改革達成形態・成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市税収納率（現年度）99.30% ・業務の効率化 					
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実					
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—					
該当するSDGsの目標						
取組年度	取組計画（数値目標）			実績（効果額）		
令和3年度	市税収納率（現年度）98.50% 業務効率化の研究					
令和4年度	市税収納率（現年度）98.70% 業務効率化の研究					
令和5年度	市税収納率（現年度）98.90% 業務効率化の研究					
令和6年度	市税収納率（現年度）99.10% 業務効率化の研究					
令和7年度	市税収納率（現年度）99.30% 業務効率化の研究					

No.	24	取組項目名	適正な債権管理
改革の概要	債権管理条例を制定することで、市の債権の管理に関する事務処理について必要な事項を定め、債権管理に関する事務の一層の適正化を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保		
担当部局・課所名	財政部	収納管理課	その他債権所管課
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収納管理センター、収納推進本部、収納対策推進委員会を設置 ・ 強制徴収公債権以外の未収金額が令和元年度決算時点で約8億9千万円 ・ 税以外の債権は事務が確立しているとは言い難い状況である。 		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令にある債権管理で行うべきことをまとめた債権管理条例を策定する。 ・ 条例に合わせた債権管理マニュアルを新たに作成し、活用してもらう。 ・ 市の中の債権管理に関する相談体制を整備。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債権所管各課において適正な債権管理ができるようになること。 		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の債権の把握 ・ 債権管理条例の制定 ・ 債権管理マニュアル作成 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債権管理についての研修実施 ・ 各債権所管課において債権管理方法と未収債権の再点検を進める。 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債権管理についての研修実施 ・ 各債権所管課で適切な債権管理を実施 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債権管理についての研修実施 ・ 各債権所管課で適切な債権管理を実施 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 債権管理についての研修実施 ・ 各債権所管課で適切な債権管理を実施 		

No.	25	取組項目名	水道料金・下水道使用料の収納率の維持向上
改革の概要	上下水道事業は、将来にわたり安心・安全な上水道の供給と、下水道による快適な生活環境の保全を行うため、持続的・安定的な事業運営が求められる。その財源となる料金収入の収納率99%の維持・向上に向けた取組を推進する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保		
担当部局・課所名	上下水道局	サービス課	
これまでの実績・課題	令和2年度現年度分収納率99.40% 令和2年10月から料金徴収業務等委託の受託業者が変更となったため収納対策が継続して適正に実施されるよう監理していく必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	収納推進本部での収納方針に沿った効果的な収納対策を実施するとともに、料金徴収業務受託業者に対する適切な情報提供と連携により収納率向上を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	水道料金・下水道使用料の現年度分収納率99%以上を維持し、向上させる。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第2編 第2章 第5節】 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	水道料金・下水道使用料 収納率99%以上		
令和4年度	水道料金・下水道使用料 収納率99%以上		
令和5年度	水道料金・下水道使用料 収納率99%以上		
令和6年度	水道料金・下水道使用料 収納率99%以上		
令和7年度	水道料金・下水道使用料 収納率99%以上		

No.	26	取組項目名	市有財産を活用した広告掲載事業の実施
改革の概要	自主財源の確保に向け、市有財産を活用した広告掲載事業を促進する		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ア 歳入の確保		
担当部局・課所名	財政部	財産活用課	
これまでの実績・課題	「施設の維持管理費を賄うための新たな自主財源の確保」に向けた一つの方策であるが、地方においては、自治体にて公募しても、手を挙げる企業がない可能性もある。令和2年12月に県内18市へネーミングライツ導入状況について調査済		
課題解決のための取組内容・改革手段	メリット及びデメリットを充分研究・協議したうえでネーミングライツ（命名権）を導入する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	ネーミングライツ（命名権）導入にあたってのガイドラインを定めるとともに、導入可能施設の検討を行う。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑫オープンデータ化の推進		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	・ネーミングライツ（命名権）導入にあたってのガイドラインの策定に向けた準備		
令和4年度	・ネーミングライツ（命名権）導入にあたってのガイドラインの策定		
令和5年度	・ネーミングライツ（命名権）導入可能施設の検討		
令和6年度	・ネーミングライツ（命名権）導入可能施設の検討		
令和7年度	・ネーミングライツ（命名権）導入可能施設の検討		

No.	27	取組項目名	中長期の財政推計に基づく安定的な財政基盤の構築
改革の概要	中長期の財政推計に基づく安定的な財政基盤の構築を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	財政部	財政課	
これまでの実績・課題	実績：令和3年度以降の財政見通しの策定、公表 課題：令和3年度から合併算定替の特例措置は終了となることや、新型コロナウイルス禍による影響も踏まえた持続可能な財政構造の確立が課題		
課題解決のための取組内容・改革手段	新型コロナウイルス禍や経済情勢による影響等を見据えた財政見通しを策定		
5年後の改革達成形態・成果目標	令和8年度以降の財政見通しの策定、公表		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	-		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	① 3年間の中期財政見通しの策定 ② 長期財政見通しの研究		
令和4年度	① 3年間の中期財政見通しの策定 ② 長期財政見通しの研究		
令和5年度	① 3年間の中期財政見通しの策定 ② 長期財政見通しの研究		
令和6年度	① 3年間の中期財政見通しの策定 ② 長期財政見通しの研究		
令和7年度	① 5年間の長期財政見通しの策定 ② 5年間の長期財政見通しの公表		

No.	28	取組項目名	合併協議における未統一制度等の見直しの加速化
改革の概要	未統一制度等の統一により、歳出の削減を図るため、合併協議における未統一制度や、地域間で異なる制度に関して、改めて必要性、妥当性等を検討し、統一化に向けた調整を行う。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	総務部ほか	行政管理課 事業担当課	
これまでの実績・課題	合併協議における未統一制度や、地域間で異なる制度に関して調整を行う必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	合併協議における未統一制度や、地域間で異なる制度に関して、改めて必要性、妥当性等を検討し、統一化に向けた調整を行う。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	未統一制度等の統一により、歳出の削減を図る。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	未統一制度や、地域間で異なる制度について、統一に向けた調整を継続して実施		
令和4年度	未統一制度や、地域間で異なる制度について、統一に向けた調整を継続して実施		
令和5年度	未統一制度や、地域間で異なる制度について、統一に向けた調整を継続して実施		
令和6年度	未統一制度や、地域間で異なる制度について、統一に向けた調整を継続して実施		
令和7年度	未統一制度や、地域間で異なる制度について、統一に向けた調整を継続して実施		

No.	29	取組項目名	公立大学法人長野大学の改革促進	
改革の概要	地域の大学として、特色ある教育研究への取組と、持続可能な財政基盤の構築に向け、設置者として大学と連携し改革を促進する。			
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
担当部局・課所名	政策企画部	学園都市推進室		
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月の公立化に際し、中期目標・中期計画に学部学科再編等の大学改革を位置づけ、令和3年4月には福祉系大学院を開設。 各年度の業務実績に対し、公立大学法人評価委員会からも改革の遅れが指摘されており、大学におけるスピード感ある取組とともに、市としても設置者として緊密に連携し進める必要がある。 			
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> 理工系学部の設置及び既存学部再編と、必要な施設整備の計画的推進 自己収入（学生納付金、外部研究費）確保や適正な歳出管理に呼応した運営費交付金等の運用 			
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<ul style="list-style-type: none"> 理工系学部設置、既存学部再編（令和7年度目標） 交付税算定における基準財政需要額を上限とした運営費交付金の継続 			
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第5編 第1章 第2節】 高等教育機関との連携による地域の魅力や活力の向上			
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—			
該当するSDG s の目標				
取組年度	取組計画（数値目標）		実績（効果額）	
令和3年度	①大学改革の促進と大学の取組評価 （学部学科再編等の協議・検討） ②適切な財政運営に向けた関与			
令和4年度	①大学改革の促進と大学の取組評価 （学部学科再編具体化、次期中期目標策定） ②適切な財政運営に向けた関与			
令和5年度	①大学改革の促進と大学の取組評価 （学部学科再編・施設整備の推進） ②適切な財政運営に向けた関与			
令和6年度	①大学改革の促進と大学の取組評価 （学部学科再編・施設整備の推進） ②適切な財政運営に向けた関与			
令和7年度	①大学改革の促進と大学の取組評価 （理工系学部設置、既存学部再編） ②適切な財政運営に向けた関与			

No.	30	取組項目名	市立産婦人科病院の経営形態の見直し
改革の概要	他施設との再編・集約化により、医療資源の有効活用等による経営の効率化や安定的な医師確保を図り、将来にわたり安全・安心な地域周産期医療体制づくりに取り組む。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	健康こども未来部	市立産婦人科病院	
これまでの実績・課題	少子化等による業務量の減少に伴う経営状態の悪化、安定的な医師の確保が困難といった課題があることから、病院のあり方について検討を進め、令和3年2月に運営審議会から答申を受けた。		
課題解決のための取組内容・改革手段	答申を踏まえ、市民の理解を得た上で、他施設との再編・集約化に向けた取組を進める。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	他施設との再編・集約化による健全な財政基盤に基づく、安全・安心な地域周産期医療体制の構築		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第4編 第1章 第2節】 安心して医療が受けられる環境づくり		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市立産婦人科病院の経営形態の見直し方針の策定 ・庁内関係課及び関係機関との調整 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課及び関係機関との調整 ・再編・集約化に伴う各種手続き 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課及び関係機関との調整 ・再編・集約化に伴う各種手続き 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課及び関係機関との調整 ・再編・集約化に伴う各種手続き 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係課及び関係機関との調整 ・再編・集約化に伴う各種手続き 		

No.	31	取組項目名	武石診療所の改革
改革の概要	武石地域の第一次医療機関としてのあり方を検討し、診療体制の見直しを行いながら、適切な人員配置等体制整備をし、経営の効率化を図り、地域医療を守るための改革に取り組む。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	武石地域自治センター	武石診療所	
これまでの実績・課題	<p>これまで、武石診療所のあり方検討会（地域内の10団体で構成）で意見交換（H28～R1）を実施してきた。</p> <p>診療所の経営は毎年度2千万円ほどの赤字となっており、これを補うため、武石診療所基金を取り崩してきた。基金残高は、令和元年度末で4千万円ほどとなり、このままいくと、令和3年度には基金の枯渇が予想された。こうした中、令和2年8月に上田市ふるさと寄附金に地域医療・在宅医療応援事業を新たに開設し、財源の確保に努め、令和2年度末には2千万円ほどを積み立てることができた。</p> <p>また、令和3年度に地域協議会へ諮問し、診療所の方向付けを行うための資料となるよう、令和2年度に地域住民へアンケート調査を実施し、住民ニーズの把握を行った。</p> <p>医師の働き方改革や感染症への対応等、一人の医師が診療所を担うには限界がきており、改めて診療体制の見直しが必要となっている。</p>		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> 診療所の在り方について地域協議会へ諮問・答申 近隣の医療機関との連携・統合について協議、実施 		
5年後の改革達成形態・成果目標	武石診療所の継続的な運営		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第4章 第1章 第2節】 安心して医療が受けられる環境づくり		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	②地域で安心して医療が受けられる環境づくり		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会への諮問・答申 依田窪病院との連携（統合）に向けた協議 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会からの答申に基づく診療体制の見直し 電子カルテの更新 依田窪病院との連携（統合）に向けた協議 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会からの答申に基づく診療体制の見直し 依田窪病院との連携（統合）に向けた協議 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会からの答申に基づく診療体制の見直し 依田窪病院との連携（統合）に向けた協議 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会からの答申に基づく診療体制の見直し 施設（築40年）の改築等の検討 依田窪病院との連携（統合）に向けた協議 		

No.	32	取組項目名	既存事業の見直し（スクラップ&ビルド）
改革の概要	全ての事業の今日的意義や役割、手法の適正性や民間等への移管可能性という視点で、既存事業の見直しを推進し、安定的な財政基盤の構築を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	財政部	財政課	
これまでの実績・課題	当初予算要求時に各課1件以上の事務事業見直しシートを提出させている。令和3年度からの交付税一本算定の実施に伴い、従前より約10億円の恒久的な減少が見込まれ、既存事業への一般財源の充当縮小は避けられない。		
課題解決のための取組内容・改革手段	真に必要な事業かどうかを生活者視点に立って検討し、全ての事務事業について、既存事業の再確認を行うこととし、既存事業の中止（スクラップ）等が見込めない新規の要求は、原則として認めないこととする。		
5年後の改革達成形態・成果目標	既存事業の見直し推進による安定的な財政基盤の構築		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	既存事業の見直し方法の研究、実践		
令和4年度	既存事業の見直し方法の研究、実践		
令和5年度	既存事業の見直し方法の研究、実践		
令和6年度	既存事業の見直し方法の研究、実践		
令和7年度	既存事業の見直し方法の研究、実践		

No.	33	取組項目名	地方公会計制度による財務書類等の活用
改革の概要	地方公会計制度による財務書類等の整備により、セグメント分析を進め、正確な行政コストを把握することで、市有財産の有効活用に活かす。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築		
担当部局・課所名	財政部	財政課	
これまでの実績・課題	平成28年度決算から統一的な基準により財務書類を作成・公表している。		
課題解決のための取組内容・改革手段	新たな公会計システムを導入し、財務書類を効率的に作成、他団体との比較、分析を行う。		
5年後の改革達成形態・成果目標	財務書類等を整備することにより、セグメント分析を進め、施設ごとの正確な行政コストを把握し、市有財産の有効活用や既存事業の見直しへ活用する。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	公会計システム導入に向けた準備		
令和4年度	公会計システム導入に向けた準備		
令和5年度	公会計システム導入に向けた準備		
令和6年度	公会計システム導入及び活用		
令和7年度	公会計システム導入及び活用		

No.	34	取組項目名	固定資産台帳を活用した財産管理と利活用
改革の概要	地方公会計制度による財務書類の作成に必要な固定資産台帳を整備し、財産の適正な管理と利活用を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ウ 市有財産の適正な管理と利活用		
担当部局・課所名	財政部	財産活用課	財政課
これまでの実績・課題	平成28年度中に平成26年度決算数値に基づく固定資産台帳データの整備が完了し、以後、年度中の資産異動データ処理を行っている。 今後は、整備済みの固定資産台帳に基づいた財産の適正な管理と利活用の推進が求められる。		
課題解決のための取組内容・改革手段	固定資産台帳に基づく財産の適正な管理を継続すると共に、台帳のシステム化を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標	固定資産台帳をシステム化することで、地方公会計制度による財務書類の作成に活用できるようにすると共に、より効率的に未利用資産の適正な把握ができるようにする。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	固定資産台帳に基づく財産の適正な管理と台帳のシステム化の推進		
令和4年度	固定資産台帳に基づく財産の適正な管理と台帳のシステム化の推進		
令和5年度	固定資産台帳に基づく財産の適正な管理と台帳のシステム化の推進		
令和6年度	システム化された固定資産台帳の活用及び財産の適正な管理		
令和7年度	システム化された固定資産台帳の活用及び財産の適正な管理		

No.	35	取組項目名	用途廃止施設の活用と処分
改革の概要	庁内での用途廃止施設の活用・処分に関する手続基準に沿って、市有財産の有効活用を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 ウ 市有財産の適正な管理と利活用		
担当部局・課所名	財政部 丸子地域自治センター 真田地域自治センター 武石地域自治センター	財産活用課 丸子地域振興課 真田地域振興課 武石地域振興課	
これまでの実績・課題	これまでは、財産管理者が、行政財産を供用廃止又は用途廃止をし、普通財産として財産活用課長へ引継ぎする際の明確な基準が示されていないかった。 (上田市財務規則第173条の2「公有財産の所管」)		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に「上田市行政財産の用途廃止及び財産処分の手続基準」を定めたことから、所管課との協力体制のもとで未利用資産の今後の利活用について検討を進める。 上田・丸子・真田・武石の各地域における未利用資産の現状を踏まえ、「公有財産管理委員会（副市長を委員長、各部長を委員とする合計15名で構成）」において、未利用資産の今後の利活用についての検討を進める。 		
5年後の改革達成形態・成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「手続基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分 「公有財産管理委員会」での検討結果を踏まえ、各地域における用途廃止施設の活用と処分 		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「手続き基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分の検討 「公有財産管理委員会」により、未利用資産の今後の利活用を検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 「手続き基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分の検討 「公有財産管理委員会」により、未利用資産の今後の利活用を検討 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 「手続き基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分の検討 「公有財産管理委員会」により、未利用資産の今後の利活用を検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 「手続き基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分の検討 「公有財産管理委員会」により、未利用資産の今後の利活用を検討 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 「手続き基準」に沿った用途廃止施設の活用と処分の検討 「公有財産管理委員会」により、未利用資産の今後の利活用を検討 		

エ 公共施設マネジメントの推進

No.	36	取組項目名	公共施設等の適正配置と長寿命化の実現
改革の概要	公共施設マネジメント基本方針に基づき、公共施設等の集約化・複合化の取組とともに、施設の長寿命化の推進を図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	総務部 政策企画部	行政管理課 政策企画課	
これまでの実績・課題			
課題解決のための取組内容・改革手段	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の実現を図るため、実施計画の要求前に関係課で事前協議する仕組みを確立する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	個別施設計画登載事業の実現		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	関係課と協議、検討、庁内意思決定		
令和4年度	実施		
令和5年度	実施		
令和6年度	実施		
令和7年度	実施		

No.	37	取組項目名	個別施設計画の推進
改革の概要	維持管理経費と更新費用の平準化を図るため、各施設所管課が個別施設計画に基づく公共施設の適切な維持管理を行う。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	総務部 施設所管部局	行政管理課 施設所管課 (個別施設計画策定時の計画策定主担当課)	
これまでの実績・課題			
課題解決のための取組内容・改革手段	予防保全に基づく維持管理手法を確立し、施設の長寿命化及び適切な維持管理を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	点検等を踏まえた計画的な修繕等により、施設が維持管理されている。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	個別施設計画の策定		
令和4年度	予防保全に基づく維持管理手法の確立		
令和5年度	予防保全に基づく維持管理手法の実施、反映		
令和6年度	予防保全に基づく維持管理手法の実施、反映		
令和7年度	予防保全に基づく維持管理手法の実施、反映		

No.	38	取組項目名	施設維持管理費の縮減
改革の概要	<p>公共施設における価格等の競争による電力調達契約導入を拡大し、更なる維持管理経費縮減を図る。 対象：庁舎（自治センター含む）、公民館、文化施設、日帰り温泉施設（ささらの湯、相染閣、ふれあいさなだ館、うつくしの湯）、室内プール</p>		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	総務部 健康こども未来部 農林部 武石地域自治センター 教育委員会事務局	行政管理課 健康推進課 農政課 武石産業建設課 真田地域教育事務所	
これまでの実績・課題	令和2年度末導入済：1施設 （対象施設数4）		
課題解決のための取組内容・改革手段	各施設において、公正かつ透明性のある電力調達について検討し、より安価な契約を締結する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	すべての施設において、より安価な電力調達契約に見直されている。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	  		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	施設所管課に働きかけ、可能な施設から契約を変更		
令和4年度	施設所管課に働きかけ、可能な施設から契約を変更		
令和5年度	施設所管課に働きかけ、可能な施設から契約を変更		
令和6年度	施設所管課に働きかけ、可能な施設から契約を変更		
令和7年度	施設所管課に働きかけ、可能な施設から契約を変更		

No.	39	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (ア) マルチメディア情報センター
改革の概要	マルチメディア情報センター事業の再構築と施設のあり方を検討する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	総務部	情報システム課	
これまでの実績・課題	平成29年7月の運営審議会において、マルチメディア情報センターが行っている事業については継続して実施する一方で、施設は建物の維持管理に係る経費の大きさを考慮すれば廃止することもやむを得ないととの答申があり、施設のあり方を含めた今後の事業計画を策定する必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	事業内容や施設のあり方などについて、庁内関係課と検討を進めるとともに、関係団体との調整を図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	社会情勢及び市民のニーズに合った事業を展開する。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑧新たなICT社会に対応できる人材育成 ⑬デジタルアーカイブ化と活用		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	他施設への機能移転も含めた事業内容の見直しと検討		
令和4年度	検討結果の対応及び情報施策の推進		
令和5年度	検討結果の対応及び情報施策の推進		
令和6年度	検討結果の対応及び情報施策の推進		
令和7年度	検討結果の対応及び情報施策の推進		

No.	40	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (イ) 労働福祉施設
改革の概要	老朽化が進む勤労者福祉センター及び共同福祉施設（サンワーク上田）について、施設の今後の方向性を検討する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	商工観光部	地域雇用推進課	
これまでの実績・課題	<p>(1) 勤労者福祉センター ○施設状況 S49建・RC3階・2,156㎡ 県労働者福祉協議会（前ろうきん）と区分所有 ○利用状況 求職者支援及び勤労者福祉の拠点施設として、求職・労働相談や各種セミナーの実施、民間企業の会議・研修、面接等の会場として利用 H30：33,275人 R1：25,599人 R2：14,494人 ※台風やコロナの影響による減少が見られる。 ○耐震未改修のため、早期に方向性を決定する必要がある。</p> <p>(2) 共同福祉施設（サンワーク上田） ○施設状況 H4建・RC2階・549㎡、 H15雇用促進事業団から購入 ○利用状況 東塩田工場団地内をはじめ企業等の会議、研修、資格取得講習・試験や文化教養・テニス等スポーツサークルの利用多数 H30：11,270人、R1：9,214人、R2：5,998人 ※台風やコロナの影響による減少が見られる。</p>		
課題解決のための取組内容・改革手段	他の類似施設（市民プラザ・ゆう等）との統合や複合施設化等、今後の施設の方向性に基づく建替え、改修、用途廃止などを検討する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	労働福祉施設の方向性の決定		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	-		
該当するSDGsの目標	  		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和4年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和5年度	○庁内協議、上田市労働福祉施設運営審議会 施設の方向性の諮問		
令和6年度	○庁内協議、関係機関との協議 除却する場合の関係機関との調整		
令和7年度	○庁内協議、関係機関との協議 施設の方向性の決定		

No.	41	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (ウ) コミュニティ施設
改革の概要	所管するコミュニティ施設（指定管理施設）の地元譲渡について検討する。 （下堀コミュニティーセンター、まほろばの里交流会館、古戦場公園コミュニティーセンター、下室賀コミュニティーセンター、染屋交流センター）		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	市民まちづくり推進部	市民参加・協働推進課	
これまでの実績・課題	施設ごとに建設時の経緯が違うため譲渡が難しい施設がある。また、条件面等の検討を要する。		
課題解決のための取組内容・改革手段	地元譲渡について条件を洗い出し、継続的に協議を行う。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	条件の整った施設について地元譲渡を行う。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	地元自治会（指定管理者）との協議		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会（指定管理者）との協議 協議の整った施設について地元譲渡 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会（指定管理者）との協議 協議の整った施設について地元譲渡 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会（指定管理者）との協議 協議の整った施設について地元譲渡 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会（指定管理者）との協議 協議の整った施設について地元譲渡 		

No.	42	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (エ) 鹿月荘とクアハウスかけゆ
改革の概要	両施設は利用者の減少傾向が続くと共に、施設の老朽化に伴う修繕費等の公費負担が増加傾向にあることから、経営方針の再構築を検討する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	丸子地域自治センター 産業観光課		
これまでの実績・課題	市政経営会議で決定した方針を基本とする施策を実行するため、内部検討を重ねてきているが、外部専門家による分析を加えることも検討したい。		
課題解決のための取組内容・改革手段	公共施設マネジメント基本方針との整合を図るとともに、将来的には専門家による分析なども加えて、経営方針を再構築する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画 (数値目標)	実績 (効果額)	
令和3年度	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		
令和4年度	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		
令和5年度	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		
令和6年度	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		
令和7年度	市政経営会議で決定した方針を基本とした施策を実施		

No.	43	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (オ) 菅平高原自然館
改革の概要	菅平高原自然館のあり方の検討を行う。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	真田地域自治センター	産業観光課	
これまでの実績・課題	・老朽化が進んでおり、今後のあり方について検討を図る必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	・地元菅平高原関係団体との協議を経て、方向付けを図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	・方向付けを図り、行程等を具体化する。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	関係団体との協議、あり方の検討		
令和4年度	関係団体との協議、あり方の検討		
令和5年度	関係団体との協議、あり方の検討		
令和6年度	関係団体との協議、あり方の検討		
令和7年度	関係団体との協議、あり方の検討		

No.	44	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (カ) 武石地域の観光施設等		
改革の概要	公共施設マネジメント基本方針に基づき、ふるさと名産センター、巢栗溪谷緑の広場、武石番所ヶ原スキー場の観光施設全般のあり方の検討を行う。				
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進				
担当部局・課所名	武石地域自治センター		武石産業建設課		
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメント基本方針対象施設 ふるさと名産センターは、現在未使用（償却終了 令和6年） その他の施設については、利用促進を図りつつ適正に維持管理 				
課題解決のための取組内容・改革手段	公共施設マネジメント基本方針に基づく取組を行う。				
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	観光施設全般のあり方の方向付け				
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実				
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑩滞在型観光の推進				
該当するSDG s の目標	  				
取組年度	取組計画（数値目標）			実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 検討会等 5回以上 適正な維持管理 				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 検討会等 5回以上 適正な維持管理 				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 検討会等 5回以上 適正な維持管理 				
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 検討会等 5回以上 適正な維持管理 				
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 方向付けに基づく取組 適正な維持管理 				

No.	45	取組項目名	公共施設のあり方の検討 (キ) 直営化した施設の適切な維持管理と処分の検討
改革の概要	利用者が限定的等の理由により、令和2年度に指定管理から直営化した33施設について、適切な維持管理を行うとともに、譲渡等を検討する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進		
担当部局・課所名	総務部 農林部 真田地域自治センター 教育委員会事務局	行政管理課 農政課 森林整備課 真田市民サービス課 真田産業観光課 真田地域教育事務所	
これまでの実績・課題			
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者団体等との協議を進め、可能な施設は譲渡する。 ・老朽化が著しく、利用頻度の少ない施設は廃止を検討する。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	1割の施設の方向性が決定		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和4年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和5年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和6年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		
令和7年度	○庁内協議 施設の方向性、除却に関する協議等		

オ 受益と負担のあり方の見直し

No.	46	取組項目名	受益と負担のあり方の検討
改革の概要	施設使用料、事務手数料の見直しを行うための基本的な統一方針を策定する。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 オ 受益と負担のあり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	令和2年2月に行財政改革推進委員会において原案を説明		
課題解決のための取組内容・改革手段	行財政改革推進委員会において原案を審議、パブコメ後に庁内意思決定		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	基本的な統一方針に基づいた定期的な使用料・手数料の見直しにより、サービス水準の維持、公費負担の軽減が図られるとともに公平性・公正性や透明性が確保される。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	基本方針の策定 庁内周知		
令和4年度	料金体系の検討・改正（各課所）		
令和5年度	料金体系の検討・改正（各課所）		
令和6年度	料金体系の検討・改正（各課所）		
令和7年度	料金体系の検討・改正（各課所）		

No.	47	取組項目名	事務手数料の見直し
改革の概要	受益と負担のあり方の基本的な統一方針を踏まえ、適正な料金体系への定期的な見直しを図る。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 オ 受益と負担のあり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	令和元年10月消費税10%を踏まえた手数料の改定見直しを実施、一部について改定を実施した。		
課題解決のための取組内容・改革手段	受益と負担のあり方及び社会経済情勢等に即して見直しを図る。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	受益と負担のあり方の基本的な統一方針を踏まえ、適正な料金体系への定期的な見直しを図る。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績実績（効果額）	
令和3年度	社会経済情勢等を踏まえた見直しの検討		
令和4年度	社会経済情勢等を踏まえた見直しの検討		
令和5年度	社会経済情勢等を踏まえた見直しの検討		
令和6年度	社会経済情勢等を踏まえた見直しの検討		
令和7年度	社会経済情勢等を踏まえた見直しの検討		

No.	48	取組項目名	施設使用料の見直し
改革の概要	受益と負担のあり方の基本的な統一方針を踏まえ、適正な料金体系への見直しを定期的に行う。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 オ 受益と負担のあり方の見直し		
担当部局・課所名	財政部 施設所管部局	財政課 施設所管課	
これまでの実績・課題	令和元年10月の消費税率改定に向けた施設使用料の改定を検討し、消費税引上げ分を原則転嫁する方針を決定の上、使用料改定を実施した。		
課題解決のための取組内容・改革手段	基本的な統一方針を踏まえ、料金体系を可能な限り統一し、使用料の改定を検討、以後定期的に見直しを実施する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	同上		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	基本的な統一方針を踏まえ、施設所管課により、料金体系を可能な限り統一した使用料の改定を検討		
令和4年度	基本的な統一方針を踏まえ、施設所管課により、料金体系を可能な限り統一した使用料の改定を検討		
令和5年度	基本的な統一方針を踏まえ、施設所管課により、料金体系を可能な限り統一した使用料の改定を検討		
令和6年度	基本的な統一方針を踏まえ、施設所管課により、料金体系を可能な限り統一した使用料の改定を検討		
令和7年度	基本的な統一方針を踏まえ、施設所管課により、料金体系を可能な限り統一した使用料の改定を検討		

No.	49	取組項目名	減免基準の見直し
改革の概要	受益と負担のあり方の基本的な統一方針を踏まえた適正な料金体系への定期的な見直しと併せて減免基準の見直しを行う。		
改革の体系項目	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 オ 受益と負担のあり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	令和2年2月に行財政改革推進委員会において原案を説明		
課題解決のための取組内容・改革手段	行財政改革推進委員会において原案を審議、パブコメ後に庁内意思決定		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	基本的な統一方針に基づいた定期的な減免基準見直しにより、公平性・公正性や透明性が確保される。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	基本方針の策定 庁内周知		
令和4年度	減免基準の検討・改正（各課所）		
令和5年度	減免基準の検討・改正（各課所）		
令和6年度	減免基準の検討・改正（各課所）		
令和7年度	減免基準の検討・改正（各課所）		

(3) 時代に即した行政運営への改革

ア 行政組織の適正化

No.	50	取組項目名	社会情勢等に応じた組織の構築
改革の概要	社会情勢や行政課題に迅速かつ効果的・効率的に対応できる体制に向けた組織見直しを検討・実施する。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ア 行政組織の適正化		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	【実績】 ・平成28年度 第二次総合計画の実現に向けた組織再編、文化行政の市長部局への移管 ・平成30年度 地方創生に向けた新たな独自政策の企画立案、教育施設の計画的な整備、学園都市の推進などに向けた体制整備 ・令和元年度 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた庁内体制強化のための組織改正 【課題】 ・定年延長に向けた組織体制		
課題解決のための取組内容・改革手段	・国・県の動向、社会情勢等を的確に把握するとともに組織ヒアリングを踏まえ、効果的かつ効率的な体制、事務所掌に向けた組織見直しの実施 ・定員管理計画に基づく適正な職員数の確保と管理		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	社会情勢や行政課題に迅速かつ効果的・効率的に対応できる体制の実現		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングの実施 ・方針の検討 ・定員管理計画の見直し 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し ・定員管理計画に基づく適正な人員配置の実施 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し（随時） ・定員管理計画に基づく適正な人員配置の実施 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し（随時） ・現定員管理計画の検証 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の見直し（随時） ・新たな定員管理計画の策定 		

No.	51	取組項目名	内部統制の研究
改革の概要	<p>制定が必須とされている、県・政令指定都市の内部統制制度を参考に、制度の研究を行う。</p>		
改革の体系項目	<p>(3) 時代に即した行政運営への改革 ア 行政組織の適正化</p>		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	<p>自治法第150条において、政令指定都市以外の市町村は内部統制制度の導入は努力義務とされているが、衆参両院において努力義務市町村においても内部統制に関する方針の策定と体制整備を促進する旨の附帯決議が出されていることから、導入に向けた準備を進める必要があると考える。</p>		
課題解決のための取組内容・改革手段	<p>上田市としての内部統制の方向性や取組体制を定め、各業務におけるリスクを組織的に把握し、既存の業務マニュアル等を整備する。</p>		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<p>業務の効率的かつ効果的な遂行や財務報告等の信頼性が確保され、また、業務に関わる法令等に適合した業務の執行が確保される。</p>		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	<p>【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実</p>		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	<p>—</p>		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	先進事例の研究		
令和4年度	あり方に関する研究会		
令和5年度	あり方に関する研究会		
令和6年度	あり方に関する研究会		
令和7年度	あり方に関する研究会		

イ 人材の確保・育成と職員の意識改革

No.	52	取組項目名	多様な人材の確保
改革の概要	複雑化・多様化する行政需要に的確に対応していくため、多様な人材の確保を図る。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 イ 人材の確保・育成と職員の意識改革		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	新規学卒者の採用に加え、専門職や民間企業等経験者の採用、定年退職者等の再任用により人材の確保を図ってきた。 高度化する行政需要に対応できる専門人材の確保や、定年引上げに伴う高齢期職員が有する知識・経験の活用を検討していく必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> 行政需要や職員の年齢構成を踏まえ、さまざまな任用形態により必要な人材を確保する。 定年引上げに伴い、高齢期職員の積極的な活用を図る。 		
5年後の改革達成型態・成果目標（効果額）	専門人材の確保や高齢期職員が有する知識・経験の活用により、住民サービスの充実を図る。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用の実施 定年引上げに向けた検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用の実施 定年引上げに伴う制度構築 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用の実施 定年延長等職員配置の検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用の実施 定年延長等職員配置の検討及び実施 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用の実施 定年延長等職員配置の検討及び実施 		

No.	53	取組項目名	計画的な職員研修の実施
改革の概要	複雑化・多様化する行政需要に的確に対応できる人材を育成していくため、多様で効果的な研修を計画的に実施する。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 イ 人材の確保・育成と職員の意識改革		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	職員の能力向上を図るため、体系的に職員研修を実施。 今後、人材育成基本計画の改訂について検討するとともに、研修を計画的に実施していく。		
課題解決のための取組内容・改革手段	年度別の職員研修計画に基づき、職場内研修（OJT）を基本に、階層別研修などの職場外研修や自主研修の実施により、職員のやる気を最大限に引き出し、職員自身が意識改革していくことを支援する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	多様で効果的な研修の実施により、「自ら考え行動しそのために自ら成長を目指す職員」を育成する。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修計画に基づく研修の実施 人材育成基本計画の改訂に向けた検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修計画に基づく研修の実施 社会情勢や職員ニーズに応じた研修の検討及び実施 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修計画に基づく研修の実施 社会情勢や職員ニーズに応じた研修の検討及び実施 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修計画に基づく研修の実施 社会情勢や職員ニーズに応じた研修の検討及び実施 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修計画に基づく研修の実施 社会情勢や職員ニーズに応じた研修の検討及び実施 		

No.	54	取組項目名	人事交流の実施
改革の概要	行政課題に柔軟かつ的確に対応できる人材を育成するとともに、組織の活性化を図るため、国・県・民間企業等との人事交流を実施する。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 イ 人材の確保・育成と職員の意識改革		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	国・県・民間企業等に職員を派遣し、職員のスキルアップと業務効率の向上に努めてきた。 必要な人事交流の実施により、人材の育成と組織の活性化を図る。		
課題解決のための取組内容・改革手段	必要な分野における国・県・民間企業等との人事交流の実施		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	国・県・民間企業等との人事交流による人材の育成と組織の活性化		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	・国・県・民間企業等との人事交流の実施		
令和4年度	・国・県・民間企業等との人事交流の実施		
令和5年度	・国・県・民間企業等との人事交流の実施		
令和6年度	・国・県・民間企業等との人事交流の実施		
令和7年度	・国・県・民間企業等との人事交流の実施		

No.	55	取組項目名	AI・RPAなどの技術の活用		
改革の概要	審議会や委員会などの議事録作成を支援するシステム導入を検討する。また、AIチャットボットの導入を検討し、市民からの簡単な問い合わせへの対応自動化を推進する。併せて、RPAを活用して業務の自動化を推進する。				
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し				
担当部局・課所名	総務部	情報システム課			
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に子育て関連のチャットボット、議事録作成支援システムのトライアルを実施 令和2年度に県の「スマート自治体WG」へ参加し、AI-OCR、RPAの活用を検討 				
課題解決のための取組内容・改革手段	議事録作成支援システム、AIチャットボット、RPAを導入				
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	AI・RPAなどの新たなICTを活用し、業務の自動化・効率化を図り、削減できた時間を市民サービスの向上のため、窓口対応や企画立案業務に専念する				
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実				
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑨AI・RPAなどの技術の活用				
該当するSDGsの目標	    				
取組年度	取組計画（数値目標）			実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 議事録作成支援システム、RPAの導入に向けた実証を実施 チャットボットの導入を検討 				
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 議事録作成支援システムを導入 RPAを試行的に導入 				
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にRPAを導入 チャットボットを試行的に導入 				
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にRPAを導入 段階的にチャットボットを導入 				
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にRPAを導入 段階的にチャットボットを導入 				

No.	56	取組項目名	業務のデジタル化・ペーパーレス化の促進
改革の概要	タブレット端末などを活用したペーパーレス会議の導入を検討するとともに、各種業務のデジタル化推進と電子決裁などシステム化が進んでいない分野の研究に取り組む。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	情報システム課 行政管理課 総務課	
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度にタブレット端末を試行的に導入 令和2年度にタブレット端末の庁外活用を検証 		
課題解決のための取組内容・改革手段	タブレット端末、モバイルパソコンの導入		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	デジタル化やペーパーレス化を推進し、業務の効率化や紙の削減による経費削減を図る		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑩業務のデジタル化、ペーパーレス化の促進		
該当するSDGsの目標	    		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議出席者に対してタブレット端末を導入し、庁議・議会のペーパーレス会議を実施 モバイルパソコンを試行的に導入 各種業務のデジタル化を研究、検討 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス会議を試行運用 各種業務のデジタル化を研究、検討 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にモバイルパソコンを導入し、ペーパーレス会議を実施 各種業務のデジタル化を検討、導入 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にモバイルパソコンを導入し、ペーパーレス会議を実施 各種業務のデジタル化を検討、導入 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 段階的にモバイルパソコンを導入し、ペーパーレス会議を実施 各種業務のデジタル化を検討、導入 		

No.	57	取組項目名	Web会議の活用と働き方改革
改革の概要	職員が庁舎間を移動することなく、また、市民も自宅や事務所などいながらWeb会議により会議・講座などへの参加ができるよう環境整備に取り組む。また、テレワークの実現に向け、セキュリティが確保されたネットワークの環境整備に取り組む。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	総務課 情報システム課	
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度にWeb会議の環境整備を実施 令和2年度にテレワーク用パソコンを試行整備 		
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> Web会議により会議などへ参加ができるよう環境整備に取り組む。 テレワークの実現に向け、ネットワークの環境整備に取り組む。 		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	<ul style="list-style-type: none"> 庁内外で開催される会議や研修会などに、Web会議を導入し、利用拡大を図る。 モバイルネットワーク環境の整備を図り、テレワークの実現に向けた検討を行うなど職員の働き方改革を進める。 		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	⑪Web会議の活用と働き方改革		
該当するSDGsの目標	    		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新本庁舎、地域自治センターに無線LAN環境を整備 テレワーク用パソコンを試行的に運用 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 南庁舎、地域自治センターに無線LAN環境を整備 テレワーク用パソコンを試行的に運用 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> Web会議を促進し、会議や研修会などに利用 テレワーク実施に向け検証、検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> Web会議を促進し、会議や研修会などに利用 テレワーク実施に向け検証、検討 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> Web会議を促進し、会議や研修会などに利用 テレワーク実施に向け検証、検討 		

No.	58	取組項目名	ワーク・ライフ・バランスの推進
改革の概要	職員がいきいきと能力を発揮できる職場環境づくりを進め、市民満足度の高いサービスの提供を図る。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	特定事業主行動計画第二次計画に掲げる取組項目の実施により職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図ってきたところである。 一方で、近年、地球環境の変化に伴う災害の発生など特例業務に該当する事態が頻発しており、災害等の状況下において職員のワーク・ライフ・バランスを維持することが困難である。		
課題解決のための取組内容・改革手段	職員の仕事と家庭生活の両立を図るための各種制度の周知と意識啓発、時間外勤務の縮減、休暇の取得の促進など		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	特定事業主行動計画第二次計画に掲げる取組項目の実施と数値目標の達成		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDG s の目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種制度の周知と意識啓発 時間外勤務の縮減 休暇の取得の推進 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種制度の周知と意識啓発 時間外勤務の縮減 休暇の取得の推進 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種制度の周知と意識啓発 時間外勤務の縮減 休暇の取得の推進 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種制度の周知と意識啓発 時間外勤務の縮減 休暇の取得の推進 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 各種制度の周知と意識啓発 時間外勤務の縮減 休暇の取得の推進 		

No.	59	取組項目名	職員提案による事務改善の推進
改革の概要	市民満足度の高いサービスの更なる向上に向けた事務改善や職場改善を職員自らが考え、提案し、実践可能とする制度へ見直し、事務事業の質の向上、職員の意識向上及び職場の活性化を図る。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	行政管理課	
これまでの実績・課題	提案制度の見直しを実施（令和元年度から施行） 提案件数実績（令和元年度：10件、令和2年度：5件）		
課題解決のための取組内容・改革手段	未実施の事務改善や職場改善の提案のみではなく、各所属で実施した改善内容を庁内で共有するなどして、職員の改善意欲の向上につなげる。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	全庁的な職員提案（職場提案）の定着		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	なし		
該当するSDG s の目標			
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	実施済みの改善内容の庁内共有について事例研究		
令和4年度	実施済みの改善内容の庁内共有を試行、検証		
令和5年度	試行、検証を踏まえて制度の見直し		
令和6年度	見直しを踏まえた制度の実施		
令和7年度	見直しを踏まえた制度の実施		

No.	60	取組項目名	押印・対面規制の見直し
改革の概要	押印の廃止により、業務の効率化が見込まれる庁内業務に係る手続きについて、様式から印を削る等の所要の改正を行う。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部	総務課	
これまでの実績・課題	例規の洗い出し		
課題解決のための取組内容・改革手段	対象となる事務事業を洗い出し、基本方針に基づいて見直すとともに、県のワーキングチームに参加し、総務事務システム共同化について検討する。		
5年後の改革達成形態・成果目標	庁内手続きの簡素化・オンライン化が図られている。		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実 【第1編 第3章 第2編】 市民と行政との情報共有の推進		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	①電子申請手続の利用促進		
該当するSDG s の目標	  		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	事務事業を洗い出し、可能なものから廃止		
令和4年度	電子化等が進んだ事務について、必要に応じて改正		
令和5年度	同上		
令和6年度	同上		
令和7年度	同上		

No.	61	取組項目名	事務事業の定期的な見直し
改革の概要	第二次上田市総合計画、実施計画の実現に向けて各部局で定めている重点目標について、取組項目及びその成果をホームページ等で公表するとともに、新たな行政需要に迅速に対応するため、定期的に見直しを行う。		
改革の体系項目	(3) 時代に即した行政運営への改革 ウ 仕事のやり方の見直し		
担当部局・課所名	総務部 政策企画部	行政管理課 政策企画課	
これまでの実績・課題	これまで目標管理制度と人事評価制度の連動による庁内評価体制を継続し、各部局の重点目標について自己評価の実施と進捗状況の公開を行ってきたが、引き続き確実な進捗管理を行うとともに、市民の視点や意見を反映した事務事業の定期的な見直しを検討する必要がある。		
課題解決のための取組内容・改革手段	行政評価方法について、他自治体の取組状況を調査・研究し、市民の視点や意見を反映する運用を検討する。		
5年後の改革達成形態・成果目標（効果額）	市民の視点や意見が反映された行政評価の実施		
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編 第3章 第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実		
「スマートシティ化推進計画」における位置付け	—		
該当するSDGsの目標	 		
取組年度	取組計画（数値目標）	実績（効果額）	
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報での公開を継続 他自治体の行政評価方法の情報収集 		
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報での公開を継続 他自治体の行政評価方法の研究 		
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報での公開を継続 市民の視点や意見が反映される行政評価の運用を検討 		
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報での公開を継続 市民の視点や意見が反映される行政評価の運用を試行 		
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報での公開を継続 市民の視点や意見が反映される行政評価の運用を実施 		